

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 8月号

2017年8月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：仲地 貴弘（豊見城中央病院）

第11回花立セミナー（病院事務職員スキルアップセミナー） 「病院をマネジメントできる職員をめざして」

開催日 平成29年6月24日

豊見城中央病院 入退院支援室 仲村桃子

6月24日（土）、25日（日）の2日間宮崎県立日南病院にて今年も花立セミナーが開催されました。今回は事務職から看護師、臨床工学技士、社会福祉士（3名）等あわせ35名の参加、うち沖縄県内からは4名の参加となっていました。

2日間のセミナー4講演のうち一番勉強になったのが、「病院における医療ソーシャルワーカーの役割」という内容。岩手県立二戸病院を経て岩手県立宮古病院の医療ソーシャルワーカーとして勤務し、地域医療福祉連携研究会や連携実務者ネットワーク協議会の立ち上げに入職後間もない時期より携わっている湯澤克氏からの講演。

医療ソーシャルワーカーの役割は退院援助がメインに考えられやすいが、その他にも地域活動等多岐にわたる。退院援助の中でも、転院先の病院や施設の概要はわかるが先方のスタッフの顔や実際に部屋の広さや明るさ等細かいことまではわからないということが多い。「顔のみえる連携」をしていくために湯澤氏は連携実務者による小さな交流会をまずは始め、最初は顔を知ることがメインの飲み会をつくった。後に①病院見学②事例検討③交流会（飲みニケーション）と徐々に交流会の流れが出来ていき、それぞれが情報交換していくことで転院調整をする際にも相手の病院を知った状態での調整となるため、患者にも安心して案内していくことができるというメリットとなっていた。単純に退院援助をしていくだけではなく「患者のためによりよい連携をしていくためには何ができるか」ということを念頭に置いて動くことの大切さやニーズをひろいどのように解決していくかというプロセスを学びました。



【講師】 湯澤 克 氏（左から3人目）
岩手県医療ソーシャルワーカー協会 理事
岩手県立病院医療社会事業士会 副会長
特定非営利活動法人全国連携実務者ネットワーク理事長
東北7県医療連携実務者協議会 岩手県世話人

今月の contents		
研修報告	花立セミナー開催報告	1
トピック	医療福祉課に事務員を採用	2
勉強会お知らせ	自主勉強会・その他勉強会	2
各部門からのお知らせ	広報・社会活動・研修	3
圏域報告（中部地区）	第1回 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議報告	5
求人情報	はいさいワーク No. 82	5
運営委員会議事録	7月18日運営会議開催	5

— 医療福祉課に事務員を採用 —

平成 29 年 7 月 7 日

大浜第二病院 医療福祉課 安慶名真樹

大浜第二病院の医療福祉課は、4名体制の部署です。今日は私たちSW部門に配属された事務員さんを紹介します。

女性ばかりのメンバーのため、毎年のように産休・育休でお休みをするメンバーがここ数年続いており、慢性的な欠員状態が続いていました。産休補助要員を探すのも大変で、補充ができて、1年そこらで復帰者との引き継ぎがあるため、病院での相談業務に慣れたところに去っていく……。どこの職場でもあるあるの現象だと思います。そして「今年度・欠員での幕開け決定」。どうする？育休から戻ってくるまで、また3名のままで業務続ける？

そんな中、院長より、「補充の職員教育にも労力があるからね。それなら事務員雇ってもいいんじゃない？」と提案がありました。初め、「ん？事務員？何をさせるの？」と戸惑った私たち。そこで自分たちの業務の中の、事務作業を洗い出してみました。すると、出るわ出るわ、事務作業の多いこと！施設のパンフレットや入院前面接の資料の整理、補充、不在時の電話対応、会議資料のコピー、転院調整患者の調整先へのFAX、紹介患者の入力、退院患者のフェイスシートの入力、カンファレンスの日程表の入力、シートの立ち上げ、必要物品の補充・・・他色々。これは業務軽減にいいかもと思い、今年度4月より産休者が戻ってくるまでの間、事務員を平日の半日、新しく仲間にお迎えすることになりました。

事務の方を迎えてはや4か月がたとうとしていますが、私たちの業務はだいぶ軽減されました。必要物品はいつも整理整頓され、時間がないときの事務作業は「これお願い！」と依頼し面接に走り、入院相談の電話を受ければ「FAXきたらコピーしてまとめておきますね」とその後の事務作業を引き受けてくれるので、私たちはカルテの確認や記録、患者家族状況の確認や面接に時間を割くことができました。

SW部門に事務員は必要だったのね、と感じる今日この頃。皆さんの部署にも事務員がいたらいいかもしれせんよ。

勉強会・研修のお知らせ

■めだかの学校

テーマ	食支援室について
日時	平成 29 年 8 月 16 日(水)19:00～
会場	豊見城中央病院
対象	おおむね 3 年未満の MSW
参加費	無料
問い合わせ	北中城若松病院 医療福祉相談課 香村

■めだかのホームルーム ※8月のホームルームはお休みです。ご了承ください。

テーマ	事例検討
日時	9月7日(木)19:00～
会場	嶺井第一病院
対象	経験年数3年以上のMSW
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘

■めだかの放課後

テーマ	未定
日時	平成29年8月17日(木)19:00～
会場	中頭病院
対象	経験年数5年以上のMSW
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘

■老健/MSW 合同研修会

テーマ	「地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設の役割と期待～機能の違いによるポジショニングとソーシャルワーク～」
日時	平成29年8月16日(水)14:00-16:00
会場	沖縄県医師会館
対象	介護老人保健施設支援相談員/医療ソーシャルワーカー/その他
参加費	無料
問い合わせ	那覇市立病院 医療福祉相談室 伊礼

■OGSV ※8月のOGSVはお休みです。ご了承ください。

各部門からお知らせ

■広報部

・会員の皆様へ毎月お送りしております、MSW ニュースがリニューアルされました。会員の皆様にとって、有意義な情報また各地域での取り組みなどを掲載していく予定です。さらにホームページにも研修案内をはじめ多くの情報を掲載していきます。ホームページは原則毎月1日に更新致します。会員の皆様、毎月1回はホームページをご覧ください。

■社会活動部

・第7回県民健康フェアが開催されます。多くの県民が参加できるよう、各病院での広報よろしくお願

いします。当日は精神保健福祉士協会と合同でブースイベントを開催いたします。社会福祉クイズや医療福祉相談などにも行いますので、会員の皆様もぜひ足を運んでください。

日時：平成 29 年 8 月 20 日（日）12：00～16：00

場所：沖縄コンベンションセンター展示場

■研修部

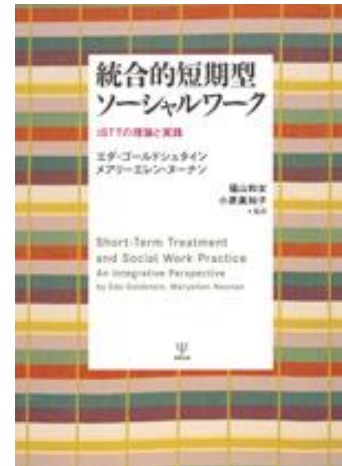
・中堅者研修を下記の日程で開催いたします。申し込み等に関する詳細は後日改めてご案内致します。

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）1 日研修

講師：小原真千子先生・福山和女先生

＜中堅者研修について＞

題名：経験年数 5 年以上の MSW 必見！！



平成 29 年度沖縄県 MSW 協会の“中堅者研修”の全貌が明らかになってきました。来る 11 月 18 日土曜日に沖縄県総合福祉センターにて開催することが決定しました。テーマは「インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（総合的短期型支援・ISTT）」です。研修部ではこの研修を 3 年計画で考えています。今回の研修会の何がすごいのか？

それは、ISTT の第一人者である先生お二人が私たち沖縄県の MSW のために来沖されること。ルーテル学院大学教授“福山和女”先生、日本社会事業大学“小原真知子”先生です。ソーシャルワーカーとしてスキルアップしたい方、県外の研修にはなかなか参加できない方、今年の 11 月 18 日土曜日はこの研修会と一緒に参加しましょう。正式な募集までもう少しお待ちください。定員は 50 名です。ISTT をご存じない方のために、ISTT の書籍の内容を以下に紹介します。お時間のある方は、是非書籍を購入し事前勉強を！

あらゆる援助には始まりと終わりがある。

統合的短期型ソーシャルワーク＝ISTT は、迅速で綿密な生物・心理・社会的アセスメントにより困難ケースの問題の本質を見抜き、時間的制約、資源の制約のなかで最適な介入を構築する援助スキルである。

ISTT はまた、複数のモデルを統合し、ソーシャルワークが培ってきた理論・技術を結集して、限りある援助をより充実したものにし、援助を離れたクライアントの生涯をも見据えたプラクティカルな援助理論である。

本書第 I 部では、ISTT の 14 の構成要素を、複合的な問題に対する援助実践の臨場感ある描写を通して解説しながら、ソーシャルワークの専門性と使命の理解を促す。

第 II 部では、危機的状況、情緒障害をもつクライアント、接近困難なクライアント、家族、グループへの構成要素の応用を検討しながら、ISTT の射程の広がりを確認していく。

ISTT の包括的視点は、生活問題とメンタルヘルスの問題がからみあい、援助の環境が複雑化するわが国の現状において、さらに活躍が期待されるソーシャルワーカーの臨床力を向上し、福祉領域の多岐にわたる業務に堅実で論理的な基盤を提供するだろう。

報告：研修部 望月 祥子（ハートライフ病院医療相談室）

圏域報告

中部地区医師会 第1回 沖縄市 在宅医療・介護連携推進会議報告

平成29年7月3日

中頭病院 医療相談室 秦 克之

平成29年6月28日(水)19時にて沖縄市役所で第一回 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議へ中部地区MSW代表として、中部徳洲会の与儀さんと参加しました。

初顔合わせでもあり自己紹介と趣旨説明が中心でしたが、課題抽出では複数の課題が話されました。

病院側の意見としては救急患者数の多さによる慢性的なベッド不足による課題がありある病院では入院ベッド不足だけではなく、救急受け入れの際の搬送ベッドすら足りないという報告がありました。

関連する課題として、施設側でも人手不足やリスク管理意識の高さからくる、緊急度の低い夜間救急の利用問題や、二次検診の受診率が低く重症化しやすい問題や高齢者がクーラー利用をしないことでの脱水問題や、クーラー利用方法がわからないための暖房モードにしたまま夏場を過ごしている方の問題など、課題抽出は多岐にわたりました。

次回は、それらの領域ごとに専門職「あるある」を出し合ってみることになりました。

初顔合わせでこれからどのような会になるかまだつかめませんが、沖縄市で生活する方が安心できる医療介護が提供できるようにMSWとして考えていきたいと思えます。

取り急ぎご報告です。

はいさいワーク No.82

事業所名	医療法人 沖縄寿光会 与勝病院
担当者	与勝病院 地域連携室 天久
連絡先	098-978-5237
* 詳細は当協会ホームページを参照いただくか、担当者へ直接お問い合わせください。	

運営委員会

平成29年7月 理事会 議事録

開催日時 2017(平成29)年7月18日(火) 19:00~21:00

場 所 那覇市立病院 1階

出席者 樋口、當銘(記録)、仲地、香村、又吉、新垣(司会)、伊禮、石郷岡

【各部会報告】

1. 研修部(香村)

① 初任者研修

→6月の初任研アンケート集計済み

・10月1日(日) 9:00受付 9:30開始 場所: 仲地胃腸内科クリニック

② 中堅者研修(参加対象: 経験5年以上)

・11月18日(土) 1日研修 場所: 県総合福祉センター

・会員：3000円 非会員 6000円

内容：ISTT 講師：小原真千子先生 / 福山和女先生

③ めだかの学校

・8月16日（水）19：00～ 場所：豊見城中央病院

内容：食支援室について

④ めだかの放課後

・8月17日（木）19：00～ 場所：中頭病院

⑤ OGSV

・8月9日（水）18：30～ 場所：那覇市立病院

緊急招集勉強会開催へ向けた課題の集約（言語化、MSWのアイデンティティ、立ち位置の確認等）

今後は事例検討会へ戻す（参加対象は経験10年以上） * 偶数月・第二水曜日開催へ

⑥ めだかのホームルーム

・9月7日（木）19：00～ 場所：嶺井第一病院

⑦ 老健相談員との勉強会（80名程の参加見込み）

・8月16日（水）14：00～16：00 場所：沖縄県医師会

→沖縄県の担当より地域包括ケアにおける老健の役割について

当銘より医療機関の機能について

老健担当者より老健施設の機能と役割について

樋口より入退院支援連携デザインシステムについて報告し、グループワーク開催

* 事前に参加申し込み書提出で参加人数を確認する

2. 広報部（仲地）

① 広報部ミーティング報告（別紙）

・ホームページの更新は毎月1日に実施（1回/月のみ）

・はいさいワークはその都度更新対応可（掲載期間を1ヶ月とする）

→書式はホームページからダウンロード出来るようバナーを作成

・沖縄県入退院支援連携デザイン事業のバナーへH28年度の活動報告を掲載予定

→圏域別研修報告では演者へパワポ掲載の承諾を確認し、PDFにして掲載。

アンケート集計結果も掲載（各圏域リーダーへ確認し、今月いっぱい報告）

・MSWのいる医療機関は定期更新付きに随時更新予定

→医療機関名をクリックすると病院のホームページへリンク出来るように調整、検討

URL貼り付けについて各医療機関へ承諾、確認をしてもらうために書類作成し8月発送案内に入れ込み、8月末締め切りでとりまとめを行う

・更新頻度（年1回）→協会の歴史（県協会主催で実施した県内・九州大会・全国大会など）

石郷岡、伊禮担当

協会定款（変更時）、協会役員

（月1回）→研修案内、研修報告、ニュース、はいさいワーク、

入退院連携デザイン事業関連、その他

（随時）→はいさいワーク

* ホームページの更新窓口はハートライフ病院高澤氏に一本化

②8月ニュース

編集担当・豊見城中央病院（仲地）

→ホームページ掲載が毎月1日で確定したので、ニュース原稿の締め切りが早くなる
8月より指定フォーマットで記事を掲載してもらう

3. 社会活動部（欠席）

県民健康フェア 8月20日（日）コンベンションセンターにて開催予定

4. 渉外（樋口）

・「難病のある人の福祉サービス活用による就労支援シンポジウム」後援依頼 → 承諾

日時：10月22日（日）13：00～ 場所：ゆいホール

・ハンセン病市民学会

日時：H30年5月19日・20日に沖縄で開催予定

7月13日（木）初回顔合わせ（樋口参加）

実行委員長：金城雅春氏（琉大）

・7月15日（土）県看護協会主催で地域包括ケアシステム構築に向けた研修開催（樋口参加）

→茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター：角田直枝氏が講演

・地域包括ケアシステムの動向、協会全体での共有について緊急招集勉強会を開催しては？

→MSWとしてのアイデンティティや他職種との上手な役割分担など協会主催で勉強会を開催
退院支援における基本の共通認識、会員の質の担保、会員の不安の解消を目指す
言語化、見える化、ポジショニングなど

・7月のOGSV（入退院支援連携デザイン批判に対する対応） 7月12日開催

→実習担当者会議で富樫先生から話が出ていた

入退院支援連携デザイン事業を受けた意図を対外的にきちんと理解してもらえるようにする
一般社団法人として協会運営のあり方、体制について検討する必要性

・那覇市チャージがんじゅう課との話し合いについて

一部メンバーで内容を詰めて理事会で報告し、窓口へ交渉に行く

・「平成29年度沖縄県主任介護支援専門員研修」へ講師派遣依頼あり

8月3日（木）9：30～16：30 場所：ゆいホール

5. 事務局（當銘）

・入会者（0名） 移動（0名）

【次回の理事会】

日時 8月21日（月）18：30～

場所 那覇市立病院

担当 司会：又吉 書記：奥平 連絡係：仲地

お知らせ

◆今月は「福祉のとびら」「コラム」「新入会員紹介」はお休みします。

編集後記

さる7月7日に某学会参加のため宮城県仙台市に行って参りました。東北の涼しい環境をイメージしていましたが、沖縄にも負けない日差しにびっくり(*_*)！美味しい牛タンと地元の日本酒に何とか学会は乗り切ることができました。

さて、毎月お届けしている本MSWニュースはいかがでしょう？今月号より会員の皆様へ有益な情報をお届けするべく新しいコンテンツや情報量を増やしています。また、協会ホームページも定期更新することが決まり、原則毎月1日に更新する予定となっておりますのでぜひご覧ください。

ニュースやホームページに関するご意見、ご感想がございましたら、広報部までお知らせください。お忙しい中、原稿依頼をお引き受けいただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>



当協会のホームページのトップページです。ぜひご参照ください。